

## 学術フォーラムの概要について（事後報告）

1 名称：「COVID-19 とオープンサイエンス」

2 日本学術会議以外の共同主催団体等：

・企画：オープンサイエンスの深化と推進に関する検討委員会

3 開催日時：令和2年6月3日（水） 10時30分～16時30分

4 開催場所：オンライン開催

5 開催趣旨：

学術の成果をオープン化して広く共有することにより、研究の進展を加速し、学術的知見の導出の拠り所となる研究資料・データと研究成果の再現性を高めることを目的とした「オープンサイエンス」の方向性が世界的に注目されている。世界的なウイルス感染の拡大の中、オープンサイエンスの深化と推進の方向性を議論し、新しい科学の推進の在り方を問う。

6 参加人数：

講演者等：11名

その他の参加者：778名（Webex Events への接続者）

91名（YouTube 最大同時接続者数。再生回数の合計はのべ507回）

7 特記事項：

本学術フォーラムは、令和2年6月3日に発出された提言「オープンサイエンスの深化と推進に向けて」のポイントを、科学者だけでなく広範囲の参加者に理解を得て、COVID-19を受けた各分野の取り組みを踏まえて、市民に理解を促すとともに、新しい取り組みのあり方を議論する機会を求め、実施した。ウイルス感染拡大の中、完全オンライン形式で開催し、Web 会議システム Webex Events と配信システム YouTube により、公開した。府県を跨がった移動が制限される中、全国から多くの参加者を得、従来のフォーラム形式では参加できない遠方の参加者にも、参加の機会を創出したことは特筆に値する。また、またメディアによる取材は、フォーラムへの遠隔参加として行い、読売新聞、朝日新聞社、毎日新聞、日本経済新聞社、産経新聞社、東京新聞、京都新聞社、NHK、TBS テレビ報道局、日本テレビ、共同通信等の参加を得たことは、高い注目を得たことを顕している。今後の報道が待たれる。